

各行政分野における政策を法的な観点から分析し、
その問題点を鋭く指摘！

日本列島「法」改造論

—— 続々・政策法学講座

阿部泰隆 著

A5判・400頁 定価：本体3,000円＋税

- 政策効果を真に享受すべき人々の視点にたった政策立案の考え方を示し、具体策を提案している。
- 「政策法学」の創始者である阿部泰隆氏による最新の解説。

日本列島「法」改造論

続々・政策法学講座

阿部泰隆



病魔に苛まれている法と政策を蘇生させよ
Dr. 阿部の執刀開始！

国家再生のために、「逆転の発想」で知恵と工夫を提示する
攻めの法律学「阿部＝政策法学」のさらなる挑戦！

第一法規

第1章

国会・内閣・裁判所のありかた

I 三権分立の嘘・与党独裁国家

近代立憲国家がすべて採用している三権分立制度の下では、国民に民主的に選出された国会が国家運営の基本を憲法の枠内で法律と予算の形でつくり、それを行政権が執行し、裁判所がそれを憲法と法律通りにしているかどうかを審査することになっている。これが違憲審査権を持つ民主的法治国家である。

我が国も、中国や北朝鮮等とは異なり、近代立憲国家の例に漏れず、この建前をとっている。しかし、その内容は、先進国家から見て大きく遅れており、与党独裁国家に近くなっている。与党が、内閣を作り、行政を行っているだけでなく、最高裁判事を任命し、裁判を、特に行政訴訟や憲法訴訟では下級審まで遠隔操作しているのだ。政府から独立すべき目録でさえ、政府に都合の良い人材が任命されて、独立性をかなり喪失している。そして、首相は、与党に都合の良い時に衆議院を解散し、国会は、与党に都合の悪い案件については証人喚問を拒否する。この現状を改革することは、日本列島「法」改造の基本である。

II 国会

1 法案の立案・根拠し過程

国会は立法府である。アメリカでは legislature、ドイツでは Gesetzgeber という。しかし、日本では、議員が自分で作る法律（議員立法）は少なく、内閣が作る法律が大部分である（韓国では、2017年に国会議員提案法律が 94.5%、政府提案法律が 5.5% のことである。金敏容先生による）。

普通には、各省が、それぞれの権限の範囲内で立案し、関係各省と調整の上（その合意を得て）、案をまとめた後、政府の憲法裁判所を自認する内閣法制局へ、理由書付きで提案し、合意であり法体系上も問題なしと「太鼓判」を押された法案が全会一致で閣議決定される。そして、法案が国会に提出されるが、しかし、その前に、主管官庁は、すでに与党の政調会や総務会に説明して、了解を取っている。国会で採っては困るとの自己防衛本能による。

国会には、説明文書として、いわゆる 5 点セットと称される「……法案についての資料」が提出される。それは、提案理由、法律案要綱、法律案、新旧対照表、参照条文、あとは簡単な関係資料である。しかし、提案理由も極めて簡単である。これだけではさっぱりわからない。

いわゆるテロ等準備罪（組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律等の一部を改正する法律（平成 29 年 6 月 15 日成立、法律第 67 号））の理由は、「近年における犯罪の国際化及び組織化の状況に鑑み、並びに国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約の締結に伴い、テロリズム集団その他の組織的犯罪集団による実行準備行為を伴う重大犯罪遂行の計画等の行為についての処罰規定、犯罪収益規制に関する規定その他所要の規定を整備する必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。」というだけである。

議員立法では、各党から法案が提出される。これは各党間の調整や内閣法制局の審査を経ないものである。成立可能性は高いものが多いが、主管官庁が表では関与したと見えず、政党内の合意ができると、国会ではほとんどな審議なしでさっさと成立する。タクシーの競争を完全に廃止して、低額タクシーを禁止し、余剰タクシーの減車を命ずるタクシー特措法がその例である（「改正タクシー特措法（2013 年）の違憲性・違法性一特に公定幅違反、減車命令について」判時 2002 号、2016 年 10 月 1 日）。

2 与党の事前審査はお釈迦様の掌の上の孫悟空、民主的討論を妨げる

国会に提出されても、与党は、国会ではまともな議論はしない。野党の質問や国民の声で問題があることがいくらかわかって、与党にはもはや後戻り



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

第1章 国会・内閣・裁判所のありかた

三権分立の嘘・与党独裁国家／国会／裁判所のありかた／行政権のありかた／地方自治法は地域自治保障法にせよ／国民の政治参加能力の向上

第2章 社会問題・国民生活

恩赦は廃止せよ／勲章はまっとうな評価を前提にせよ／靖国神社参拝／宗教系私学への国庫助成への疑問／国旗・国歌は作り直せ／日本は旧ソ連の終戦後の蛮行をなぜ非難しないのか／日韓請求権協定／国民の祝日は休日にするな・有給休暇上乗せ法の提唱／都民人生倍増計画／定期借地はするな、不測の損害が発生する、中途解約条項が必要／権利金なし借地で、期限で出てもらうのに立退料の大損、土地は絶対貸すな／悪徳借家人対策が必要だ／質屋で発見された盗難品を返還してもらうには金がかかる／未成年者死亡保険、上限1,000万円、金融庁が義務化／自殺未遂にも健康保険を適用せよ／精神障害者にも不法行為責任を負わせよ／保険会社は、保険事故後直ちに調査し、疑惑を証明できなければ素直に払え／過労死企業名を公表せよ／学歴逆詐称を理由とする免職は違憲だ／都会の道路を安全に整備せよ／都心車両乗り入れ制限・電バスのないシチン電車復活せよ／雑居ビルの安全対策、繰返し違反には反則金を適用せよ／忘れ物はすぐ返せ／介護士・保育士不足は給料を公務員並みに／普天間基地は辺野古に移転せずに、住民がニュータウンに移転せよ／死刑廃止論のありかた／所有者不明土地の活用／竹と土地所有権の混同／道路拡張予定塩漬け土地には補償せよ／外交官の車に轢かれた犬死を救済せよ

第3章 規制改革のありかた

規制改革はまだ必要／加計学園の獣医学部設置問題／タクシーの再規制と規制のありかた／理美容師、高校中退でもOKにせよ／まっつけエクステンションの規制は違法／農地の規制緩和をさらに進めよ／外国人労働者の入国規制の緩和の仕方／郵便における内容証明・信書送達規制緩和／建物規制のいすぎ／パチンコ、ラブホテルの規制は緩和せよ／公証人の不当な利権／ぼったくり防止条例に地域限定は不要、条件明示義務／土地

規制の緩和など、土地の儲けは公共のものに／企業の組織的腐敗対策／動物愛護法を改正せよ、処分されるベットの悲惨／漁業権は、漁業資源を増加させる企業に認めよ／暴力団脱退者の職業を確保せよ／性病対策、無償で検査し、証明書を発行せよ

第4章 税制改革

所得税率は高すぎだ／消費税は外税にせよ／相続税は大口だけ値上げせよ／高齢化社会の財源は相続財産から取れ／さらなる相続税法の改革／固定資産税・都市計画税／中古住宅の流通税の軽減を／宗教法人等公益法人からも法人税を取れ／個人の課税体系の抜本的改革、ビケティと相続税／民法学者の税法知らず／「豚は太らせてから殺せ」の残酷さ／むすび

第5章 医療、命を大切にせず、医療費を無駄遣いする厚労省

修復腎移植を邪魔するな／HIV検査すり抜け対策／要指導医薬品の誤魔化し／手術の同意書は無効だ、やめよ／医療行為の規制緩和の必要／医療行為のできる職種を拡大せよ／死亡診断の権限は看護師にも与えよ／医師は専門外もある程度理解せよ／救急車は適切な病院に搬送せよ／ジェネリック（後発）医薬品の使用義務化を／処方せんの有効期間は延長せよ／検査データはポータブルにせよ／病院は不衛生、医師が往診する気が起きるように改革せよ

第6章 年金

社会保障の改革／年金を公平に、貧乏人から金持ちへの仕送り義務付けは違憲だ／子ども年金法の提唱、子どもは社会で育てよ

第7章 福祉

生活保護制度の抜本的な改革／介護保険と高齢者介護／公営住宅の適正管理／障害者支援／失業者・受刑者に福祉の仕事／福祉手当の申請主義一不遇と主義の見直しを／年金分割届け遅れで分割審判が無に／雇用保険は過大給付だ／ボランティア点数制度を

第8章 環境保護と原発廃絶

地球温暖化対策としての小さな省エネ運動／動物の肖像権を国家保有に／公園、広場のハト公害対策／昔のダム計画はアセス法の適用逃れ、アセス法の改正が必要／原発は廃絶せよ

第9章 交通事故対策

運転不適格者の免許は永久に剥奪せよ／自動車教習所卒業生の事故率を考慮した処分を／車両の歩行者・他車安全性／交通事故犠牲者の救済は自動車業界と石油業界の拡大生産者責任で／自転車交通法の提唱

第10章 大学

学問への姿勢／大学教員の人事・処遇・職務／大学改革

第11章 大学生

持込み自由の考える試験を／大学院の授業料を安くして／大学授業料無料化の愚／創立記念日にはばっちり授業せよ／大学の成績評価一可山優三（加山雄三）ではなく、総体としての質のコントロールを／大学は成績評価方法を公表せよ／博士号は、授与大学名を附記し、論文を公表しなければ取り消せ／大量留年対策／飛び級を認めよ

第12章 マスコミ批判

判決の際の当局の新聞談話／非常識な新聞記者／役人の誤魔化し「誤」説明に騙されるな／社説は顕名にして責任を負え／重大な誤報には責任を／夕刊のテレビ欄は翌日分を掲載して／野球放送の時間延長は廃止せよ／外国語ニュースは通訳で

第13章 身辺雑記

医師、弁護士の評価システム／人身事故による列車の遅れ対策／学者文化人と芸人のギャラは逆だ／駅の案内の工夫／おかしな日本語／相撲取りの怪我＝休場防止策／女子トイレを増設せよ／男損女肥／説明は大きな字で書け／方言を馬鹿にするな／災害の時のトイレ貸出義務／年齢確認の無駄／論理の誤りその他

詳細・お申し込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規

検索

CLICK!

